

## 東日本大震災

東日本大震災の被災地・岩手県大槌町のお年寄りがそろえた手芸材料セットで貝のキーホルダーを作る催しが18日、総社市であった。生活協同組合おかやまコープが、大槌町に支援拠点を持つ国際医療NGO「AMD A」（北区）の協力で企画。参加者は「キーホルダーを見るたびに大槌町に思いをほせたい」と話していた。

震災発生から5年の節目を前に、組合員らが「被災地に行けなくてもできる支援を」と発案した。同町にある「AMD A大槌健康サポート

# 手芸で被災地支援

## 総社 16人がキーホルダー作り

センター」が、町内のお年寄りが作った手芸セットを同コープに紹介。組合員らは「セットをかうのも被災地支援」と1組500円で購入した。

この日は組合員16人が参加。AMD Aボランティアセンター参与の竹谷和子さん(66)から被災地の現状を聞いた後、アサリの貝殻にちりめん生地を貼ってキーホルダーを作った。完成後に撮った写真にメッセージを添え、近く同町に届けるといふ。

同コープ備北エリア委員長の村上利知巳さん(53)は「災害はひとごとではないと改めて感じた。手芸をきっかけに大槌の人と交流したい」と話した。

【久木田照子】



岩手県大槌町から届いた手芸材料セットで作ったキーホルダーを手にする組合員ら

＝総社市総社のコープ総社東で